
僕は君を守る

まこっちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕は君を守る

【Nコード】

N1887M

【作者名】

まこっちゃん

【あらすじ】

貧富の差が激しくなった日本。

とあるお嬢様のところに気分屋で面倒くさがり屋で嘘つきで最低な傭兵が訪れる。

プロローグ

戦争が終わり4年がたった。

日本の制度が大きく変わり3つの人種に分かれた。

一つ目は富があり名声があり権利を持つ貴族。
人口の20%の人間が3つの人種の頂点に立つ。

二つ目は多くの人間がなす平民。
人口の78%を締めくくる大多数の人をさす。

そして三つ目が人外の能力を持つミュータント。
今は無き実験により作られた人造人間。
人としてのすべての権利をはく奪された人種。

政府は大きな区切り―区別―差別をした。
裕福な者には力を貸し、貧しい者にははく奪をした。

戦争が終わり急激に犯罪が増え、法律も変わり、日本は壊れていた。
・
・

第一話 出会い

ここは社会から捨てられた人が集まる場所 立ち入り禁止区域 通称<人捨て場>

ここでは殺人、窃盗、強姦などの犯罪者もしくは犯罪予備軍がすむ死臭が漂う場所だ。

俺はここで育った。

人の殺し方、

人の騙し方、

人の疑い方。

ここから出れば自分は変われると思っていた。

そんな希望的観測のことを思い、この<人捨て場>から出て行った。

そこは、物で溢れていた知らないものも多くある。

何より命の危機を感じない。俺の中でこれが平和だと初めて知った。

そして本当に俺は変わった。

ある少女と出会って・・・

「あゝこっちの方に出てきたはいいがなにをすればいいかわから
ねえよ」

俺は初めて手にした平和を感じそのようなことを考えていた。

「どっかに三食めしつきで下宿できる仕事無いかな・・・」

こっちにきてやることが見つからない。

そう思い適当に歩いていた。

すると公園についたらしい、しかも、人があまり居らずなかなかいい場所だなあと思っていたその時

きゃあああ！！！！

女の悲鳴が聞こえた。

声のする方を向くと二人組の男に少女が誘拐されそうになっていた。

俺はそれを へえこつちにもやつぱり犯罪つてあるんだ 程度のもので見ていた。

すると少女が俺の存在に気付いたらしく

「あなた！その見てないで助けなさいよ！！」

なんともふてぶてしい自分の身ぐらい自分で守れよ。

「ちっ！目撃者がいたかおいあいつを始末しておけ」

最悪だ。関係無いのに巻き込まれしまった。

「へっへっ兄ちゃんあなたも運が悪いな。悪いけど死んでくれ」

なんとも理不尽だ・・・

男はそのまま俺に向かって殴りかかってきた、だが俺は相手のパンチを避け懐に入り手の平を男の顔につけそのまま地面にたたきつけた。

男は歯が折れ無様な格好になった。

「なっ！！くそっ！！これでも食らえ」

もうひとりの男は少女を片手で押えもう片手で拳銃を取り出し発砲

した。

「あぶねえ！何すんだテメエ！！」

俺は三步で相手の懐に入りみぞおちに蹴りを入れた。
男は前のめりになり崩れた。

それが俺とこいつの出会いだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1887m/>

僕は君を守る

2010年10月9日22時59分発行